

研究室概要:

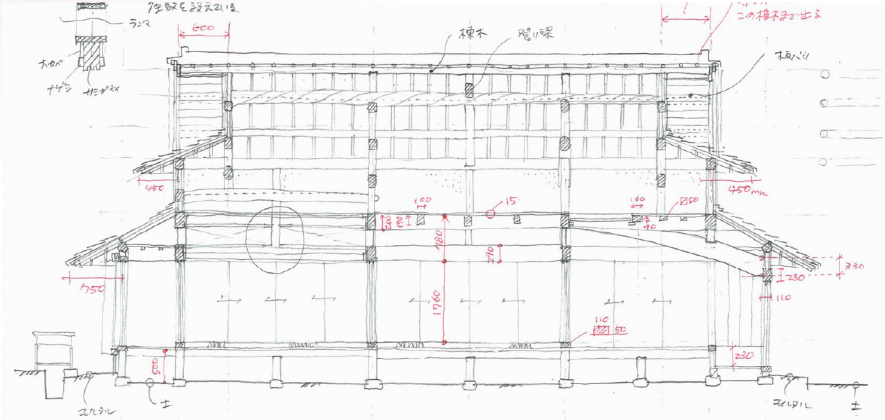
都市計画研究室の建築史領域(大井)では、三重県を中心とした歴史的町並み、建造物、景観といった文化資源について、その資料も含めた調査、研究を行います。

産学連携が可能な研究テーマ:

- ・歴史的街並みや、その景観に関する調査、研究
- ・民家や近現代の住宅を中心とした、歴史的建造物の実測調査
- ・上記に関係する資料の調査、研究



漁村集落の景観調査の例(鳥羽市)



民家の実測調査の例

●歴史的建築物・町並の保全活用

三重県を中心に、優れた歴史的町並や歴史文化、景観などの文化資源を有する土地について、その良さを活かした保存整備に、自治体や地域団体と協力して取り組みます。更にその町並や景観を、その地域に存在するさまざまな文化資源や人々の営みと関連づけて、地域ならではの歴史や文化を活かした、より幅広い地域づくりを進めていくことにも取り組みます。

●歴史的建築物の調査分析(民家・近現代の住居等)

指定文化財や登録文化財の候補となる歴史的建築物などを掘り起こし、実測や資料調査をもとに、その位置付けや価値を明らかにします。また、このような活動に関心を持つ地域の建築技術者とも連携し、支援や、助言を行います。

●歴史的建築物関連資料の調査分析(絵図・図面・仕様書等)

三重県を中心に、各種建築物に関する資料を収集、分析するとともに、資料の評価や活用について、専門機関、自治体、市民団体などへの協力を行います。

助教 大井 隆弘